

# 大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2014-2018

大学・まち・学生 むすぶプラン



京都市・大学コンソーシアム京都



京都市長 門川 大作

「大学のまち・学生のまち」。多様な大学・短期大学が集積し、人口の約1割に相当する学生さんが学ぶ京都の重要な都市特性ですが、この特性の要素は学校や人の数の多さだけにとどまりません。

各大学・短期大学がそれぞれの個性をいかしながら、また、大学コンソーシアム京都を中心に相互に、あるいは産業界や地域と連携しながら、幅広い分野で意欲的な挑戦を重ねておられる。学生さんが机の上で勉強するのみならず積極的に地域にも飛び込み、生き生きと活動しておられる。その姿を、多くの市民の皆様が温かく見守り、応援しておられる…。

このように、大学で蓄積されてきた数々の知が社会的な課題の克服やまちの活性化に大いに貢献し、学問を志す若者がまち全体をキャンパスにして学び成長する、そんな貴い営みが活発に積み重ねられてきたからこそ京都は「大学のまち・学生のまち」なのだと思えます。

今、我が国の18歳人口の長期的な減少、国際的な大学間競争の激化など、大学・学生に関連する情勢は厳しさを増しつつあります。京都にとっても、そうした状況への対応は大きな課題です。しかし、ピンチはチャンス。困難な時にこそ京都ならではの強みを最大限に発揮し、明るい未来を切り拓くための大胆な政策を展開していくとの強い思いを込めて、この度、本計画を練り上げました。

今後、本計画を羅針盤として、本市と大学コンソーシアム京都が車の両輪となり、各大学、地域、産業界の皆様としっかりと連携し、知恵と力を結集して果敢に取組を進めてまいる決意です。世界中の学生や研究者の皆様「京都で学びたい」と夢見ていただけるまち、そして「京都で学んでよかった」と心から実感いただけるまちの実現に向け、どうぞ皆様の御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、本計画策定に御尽力をいただきました、「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」及び同「計画策定専門部会」の委員の皆様をはじめとする関係者の皆様、貴重な御意見をお寄せ下さいました市民の皆様「心から御礼申し上げます」。

平成26年3月



公益財団法人 大学コンソーシアム京都 理事長 赤松 徹眞

京都は、市内を中心に数多くの大学・短期大学が集積し、人口147万人の約1割に当たる14万人の学生が学ぶ「大学のまち・学生のまち」です。その都市特性をいかすため、京都市と大学を中心とした産学公の連携により、平成6(1994)年に全国で初めての大学間連携組織である「京都・大学センター」として発足しました。現在は20年が経過し、50の大学・短期大学に加え、地方自治体・経済団体も参画する全国最大のコンソーシアム組織に発展いたしました。

高等教育の情勢では、18歳人口の長期的な減少や、グローバル化などを背景に知識基盤の形成に大学が果たすべき使命や大学の質向上、地域の核となる大学機能の構築が喫緊の課題となっており、大学を取り巻く環境は流動しております。

一方、京都では、前計画の推進期5年間の状況をみても、大学生の総数については、横ばいであり、地元の入学者に比べて全国各地からの入学者数が相対的に多い状況です。また、留学生数も例年、増加傾向にあります。このことは、「大学のまち・学生のまち」京都が全国的・世界的に、注目されていることを示していると考えられます。

また、大学コンソーシアム京都でも平成26(2014)年度より新ステージを迎え、①京都地域における大学間連携事業の推進、②加盟大学・短期大学の教育の質向上の追求支援、③「大学都市」京都、地域の発展と活性化への貢献をすべく、大学振興に取り組んでまいります。

引き続き、この京都が「歴史」、「伝統」、「文化」、「芸術」、「ものづくり」、「観光」、「環境」などの観点とともに、大学の「知」や学生さんの「知性」、「情熱」を集めた「大学のまち・学生のまち」としても輝きを放ち続けるべく、京都市と本財団加盟大学・短期大学が一丸となり、産業界、地域が本当の意味でオール京都一体となって、「京都に、大学があってよかった」「京都に、学生さんがいてよかった」と言われるように取り組んでまいります。

結びに、本計画策定に御尽力を賜りました「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」及び計画策定専門部会の委員の皆様をはじめ、関係団体の皆様、市民の皆様に心から厚く御礼申し上げます。

平成26年3月

# 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2014-2018」の概要

## 第1編 計画策定の趣旨など

### ＜これまでの京都市と大学コンソーシアム京都の取組＞

- 1 「大学のまち・京都21プラン」策定と大学コンソーシアム京都設立, キャンパスプラザ京都設置
- 2 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」の策定・推進
- 3 大学コンソーシアム京都の取組(単位互換, 京カレッジ, インターンシップなど)

### ＜計画策定の趣旨＞

社会状況の変化や前計画の成果を踏まえ, 京都市と大学コンソーシアム京都が協働で策定

## 第2編 大学・学生を取り巻く状況と課題

### ＜状況＞

国内における18歳人口の長期的な減少やグローバル化に伴う国際的な大学間競争の激化により, 大学・学生を取り巻く状況が厳しさを増している

### ＜課題＞

- (1) 学生の学びを支える環境づくりの充実
  - 大学の集積をいかした「大学のまち京都・学生のまち京都」としての更なる魅力づくり
  - 大学の個性化, 学びの環境の向上に向けた主体的な活動を支援する仕組みの充実
- (2) 大学・学生の国際化を促進する仕組みの充実
  - 海外からの留学生誘致・支援を総合的に進める仕組みづくり
  - 京都で学ぶ学生が広く留学機会を得られる仕組みの充実
- (3) 学生の進路・就業への対応
  - オール京都で学生の就業力を高める取組
  - 京都の大学で学んだ学生が京都で活躍できる仕組みづくり
- (4) 大学と産業・地域との連携の強化
  - 大学と産業界・企業との連携・協働の強化
  - 大学と地域との連携を円滑にコーディネートする機能の強化
- (5) 学生の主体的活動の促進
  - 学生の力をいかすことで学生の育ちと地域の活性化につながる仕組みの充実
  - 学生が大学の枠を越え, 主体的に活動できる環境づくり
- (6) 「大学のまち京都・学生のまち京都」の発信力の強化
  - 「大学のまち京都・学生のまち京都」としての個性や魅力の再認識
  - 対象を意識した効果的な情報発信・PR

## 第3編 目指すべきビジョン

### 世界に誇る 「大学のまち」 「学生のまち」

～世界の学生・研究者から  
選ばれる都市を実現～

### ビジョンの具体的なイメージ

- 1 京都で学ぶ魅力を実感できるまち
- 2 グローバルな視野を持った人財が集い, 育つまち
- 3 京都で学んだ学生がいきいきと活躍するまち
- 4 産学公地域連携による活力にあふれたまち
- 5 学生が主体的に活動し, 輝くまち

## 計画の推進

### ＜計画推進組織＞

京都市, 大学コンソーシアム京都, 大学, 学生, 企業, NPOなどからなる「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」による計画の進行管理

### ＜計画推進期間＞

平成26(2014)年度から5年間

## 第4編 施策の推進

### 1 学生が学ぶ環境の充実

- <リーディング施策> (1) 「量から質へ」単位互換科目の魅力の向上  
(2) 「景観と機能の調和」大学施設整備の支援

- <推進施策> (1) 「安心して安全に学べる京都」の充実  
(2) 学生が京都とふれあい、協働する環境づくり  
(3) 大学経営・運営の支援  
(4) 多様な大学・学生活動拠点の活用・設置の促進

### 2 大学・学生の国際化の促進

- <リーディング施策> (1) 「京都を知ろう」留学生誘致に向けた海外への広報  
(2) 「京都に触れよう」大学のまち京都の魅力を体感できる短期留学受入の実施  
(3) 「世界を見よう」京都で学ぶ学生の海外留学派遣の強化

- <推進施策> (1) 留学生支援機能の強化  
(2) 留学生などに住み良いまちづくり  
(3) 留学生の進路・社会進出の支援  
(4) 大学職員の国際化の支援  
(5) 海外との学術教育研究の交流促進

### 3 学生の進路・社会進出の支援

- <リーディング施策> (1) 「未来の京都を担う」京都企業と連携した人財育成  
(2) 「京都で働く」京都企業と学生のマッチングの促進

- <推進施策> (1) 大学卒業後の多様な選択肢を描ける人財育成の推進  
(2) ニーズに対応した就業マッチングの促進  
(3) 進路カバーアップの推進

### 4 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化

- <リーディング施策> (1) 「京都発イノベーション」大学との連携によるものづくり技術の継承・発展  
(2) 「飛び出す大学」大学と地域の連携・コーディネート仕組みの充実

- <推進施策> (1) 産学公の連携による京都経済の活性化  
(2) 教育・研究分野の新展開を目指す大学との連携強化  
(3) 地学公の連携による地域課題への対応  
(4) 小中高大(院)連携の推進  
(5) 大学をいかした芸術文化環境の向上

### 5 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化

- <リーディング施策> (1) 「一人一人が輝く」学生の主体的活動の促進

- <推進施策> (1) 学生の活動を促進する仕組みの充実  
(2) テーマごとの学生の活動の促進



### 6 プロモーション戦略の強化

- <リーディング施策> (1) 「京都の大学へ行こう！」学生の力を活用した国内外への情報発信  
(2) 「大学のまち京都・学生のまち京都」PR戦略の構築

- <推進施策> (1) 「大学のまち京都・学生のまち京都」の中学生・高校生などへの発信  
(2) 現役・OBの学生・留学生などによる京都生活の発信  
(3) 大学・市民向け広報の充実